

一般質問

Q&A



ひがしはら あきら
東原 章議員
自民党市政会

自民党市政会



質問の様子は
こちら！

世界気候エネルギー
首長誓約について

Q コンプライアントバッジを交付された要因及び評価された取組について伺う。

A コンプライアントバッジは、気候変動対策に関する緩和策と適応策において、それぞれ3段階の取組が全て実施されたと認められる自治体に授与されるものであり、本市はこれらの取組を全て実施したことにより、条件を満たし、このたびコンプライアントバッジの交付を受けたものであります。

また、本市においては、海中における二酸化炭素の吸収機能を持つ藻場の再生、創出事業をはじめ、民間事業者と連携した市内公共施設等への電気自動車用充電設備の設置、公共施設へのマイボトル用給水機を設置など、公民連携手法を積極的に活用し県内に先駆けた様々な取組を進めていることも評価を受けたと考えています。

(市長)

質問の主な項目

- ・ 市民ホールについて
- ・ 消防体制について

メガソーラー対策について

Q 条例制定について伺う。

A 本市では、令和3年9月にゼロカーボンシティを宣言し、太陽光発電を含む再生可能エネルギーの活用は重要なものと位置づけています。一方でメガソーラーについては、景観の悪化や自然環境・生活環境への影響、土砂災害等の防災面、事業終了後の設備の廃棄、地域との共生等の懸念があり、これに対して適正に対応していかなければならないと考えています。

国においては、メガソーラーの法的規制強化に向けて、「太陽光発電事業の更なる地域共生・規律強化に向けた関係省庁連絡会議」が設置されて検討が始まったところであり、2026年通常国会でメガソーラーを法的に規制する施策を実行するとお聞きしています。

本市としましては、そういった国の動向を注視しながら規制内容等を精査し、1年以内に条例を制定していきたいと考えています。

(市長)



おがさわら ひろし
小笠原 浩議員
国民民主坂出

国民民主坂出



質問の様子は
こちら！

瀬戸大橋を活用した
観光振興について

Q 瀬戸大橋記念公園について香川県と連携した新たな整備強化に対する考えを伺う。

A 瀬戸大橋記念公園は瀬戸内海の島々の景観や瀬戸大橋の壮大な姿を楽しむことができる施設として、広く市民や観光客に親しまれており、本市の観光振興においても重要な役割を果たしています。

県による施設整備も進められており、瀬戸大橋を背景に記念撮影を楽しむことができるLEDを備えたハート型モニタメントが設置されたほか、今年度中には園内の球技場における藤棚の整備が完成する予定であり、来園者の増加が期待されています。

本市としましては、坂出北インターチェンジのフルインター化により県外からのアクセスの向上が見込まれることから、記念公園が持つ多様な施設と瀬戸内海国立公園の拠点であるという特性を活用し、滞在型観光拠点としての新たな整備強化を香川県に働きかけていきます。

(副市長)

商店街エリアにおける
移住促進による
にぎわい再生について

Q 商店街エリアを重点化し、空き家対策と移住促進を一体的に進めることへの見解を伺う。

A 坂出駅周辺再整備基本構想に定める6つのエリアのうち、商店街エリアにつきましては、「チャレンジャーゲート」とし、空き店舗や空き地を活用したチャレンジを誘発するとともに、本市の利便性を生かした居住空間を創出する場を目指しています。

坂出再生に向けては、中心市街地における更なる民間投資を呼び込むため、チャレンジショップや創業支援補助金などの事業者支援との相乗効果を図ることが重要であると考えています。

実際に移住者等による新規出店が、新たな町のにぎわいにつながるケースも生まれており、広報紙に加えて、移住者向けのポータルサイトや冊子においても、このような事例の発信に努めているほか、Sakabizとも連携を図り、移住と起業をテーマにしたセミナーを開催するなど、新たな民間投資につながるよう、重点的に取組を進めています。

(市長)